市町村名		国頭村											
	平成2	9 年度(約	繰越)沖縄振興	特別推進	<u> </u>	作)業	町村分)	検証	シート	【公表	用】		
事業番号 - 事業名	9一① 幼保連携型総合施設整備事業							沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所			第3章-2-(2)-イ		
担当部課名	建設課		事業実施 (予定)年度		9年度	李本町回影 沖縄振興基		地域にお		Sける子育て支援の充実 			
	スピナの成長支援・ス奈で支援の充実が漂				該		該当箇	当箇所					
事業内容	する。				י-נים נים ני	, VE 17 (W	тинс п	יו בוניוא	プルス nc こ . .	ピノーツルへへ	:) <i>7</i>	2 ☐ NEDX 1 C TE №0	
効果発現年度	□当年月		■後年度(R2年度) ■委託 □補助 □負担 □その他 ()										
実施方法	★ ■直接実施 ■委託 H26年度		補助⊢	□負担 I27年度	H28年度			H29年	度	H29	9年度(繰越)		
	(a) 当初予算額			,260	260 11,700		182,09		5 1,031,073			_	
	予 算 (b) 予算	算現額	4	,260	192,694		153,	448		1,042,573		_	
	の (c) 増え	減額(b-a)		0	0 180,994		▲ 28,647		11,500		_		
	状 況 (d) 繰起		_		_		_		_		700,310		
予算額 · 執行額		計(b+d)	4.	,260			153,448					700,310	
【単位:千円】	B. 執行		<mark>-</mark>	,104	04 169,202		153,378		+				
(「交付金」+ 「市町村負担」		付金充当額	3,	3,283		122,702		702			547,033		
ペース)	次年度								700,310				
	執行率(9	%) (B/A)		16.3%	87.8%						97.6% り植栽工・防火水槽に係		
	る工事費26,320千円を9月補正で増額したものである。また、杭長の変更及び制作、再度の構造計算に不測の日数を要したため、施工監理費及び工事費にかかる700,310を30年度に繰越した。不用額の16,519千円については、施設の看板や進入防止柵の設置個所等の検討に期間を要するとの判断により、2000年度に実施したためである。												
		H29活動目	標(指標)		1120年	-	1120年	達成物		· /- #		D0 任 在	
				目標	H29年原 6 施工監理第	≤数	H30年 (<u></u> ()	(1年度) (R2年度)	
	建築工事施	工管理業務	の実施	実績	か実施 施工監理業			,				,	
活動目標		建築工事(施設本体を含む機械・電気設備			(建築工事 <i>0</i> 施) 実	()	() ()	
(指標) 及び達成状況	等)実施			実 績	建築工事								
	土木工事(タ	小構)実施		目標	(土木工事の 施	,)	()	() ()	
	達 #	== += # 75		実 績	土木工事	完了							
	成出		を完了した。	- ·- 									
	況		役本体を含む機械・電	(気設備等)を	完了した。								
	・土木工事(外溝)を完了した。												
		H29成果目	標(指標)		基準値 (年度)		H29年度	H3	0年度	R1年	度	目標値 (R2年度)	
	建築工事施工監理業務の完了		目標	(工監理 務の完)	()	()	()		
			実 績		施工	監理業務完了							
	建築工事(施設本体を含む機械・電気設備)			目標	(築工事 完了)	()	()	()	
	の完了		実 績		建	築工事完了							
成果目標			•	目標	(木工事 完了)	()	()	()	
成果日保 (指標) 及び進捗状況	土木工事(外構)の完了			実 績		±	木工事完了						
	【R2成果目標】 保育・教育の質の向上のための園内研修 の実施		目標								(年6回以上)		
	【R2成果目標】 環境整備活動			目標								(年6回以上)	
	進 排 状 況 ・施工監理業務、建築工事、土木工事を平成30年12月に完了し、平成31年1月から幼保連携型総合施設の供用が開始されている。 説 明												

Ī		推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	粗		・保育教諭が働きやすい職場づくりや保育・教育の質の向上に向けて、保育教諭の役割分担を明確化することや園内研修により情報を共有化する必要がある。また、子ども達がのびのびと遊べるように、安心・安全な遊び場に向けた取り組みを検討する。
ı		A 44 A THU	g →, → Δ1

今後の取り組み方針

・保育教諭の役割分担の明確化に向けた業務内容の見直しや、園内研修による子どもの教育についての情報共有及び発達障がい児への対応の検討により、保育・教育の質の向上につなげていく。また、安心・安全な遊び場に向けて、砂場や遊具の安全点検及び芝生や花壇の手入れ等を実施する。

